

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	官民共創の新しいまちづくり協議会 ワーキンググループ全体会			
開催日	2024 年 12 月 24 日(火)			
開催時間	開会	18:00	閉会	20 : 00
開催場所	伊那市役所 1 階多目的ホール			
出席者				
協議会・WG メンバー	三澤俊明氏、平賀研也氏、平賀裕子氏、田畑和輝氏、黒河内貴氏、高橋明星氏、須永次郎氏、笠井成樹氏、山本風音氏、須永理葉氏、吉岡秀幸氏、志知貴文氏、鈴木孝之氏、政金裕太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
事務局・職員	白鳥市長、伊藤副市長 企画部：飯島部長、織井企画政策課長、田中地域創造課長、有賀企画政策課長補佐、村田新産業技術推進係長、浦野地域ブランド推進係長、飯島まちづくり推進係長、福原、仲村、政金 商工観光部：重盛部長、柴商工振興課長、林商工振興課長補佐 建設部：橋爪部長、柴田参事、原都市整備課長、辰ノ口伊那北駅周辺整備課長 教育委員会：三澤次長、唐澤学校教育課長、伊藤学校教育課長補佐			
関係者	伊那市社会福祉協議会：矢澤秀樹業務課長 上伊那地域振興局：杉本佳那子主事 伊那市新産業技術推進協議会：栗林秀吉会長			
欠席者	北原俊文氏、大塚純氏、細谷啓太氏 企画部：飯島部長			
議事	1、市長あいさつ 2、ワーキンググループ全体会			

議事項目	概要	次のステップ
1、市長あいさつ		
	・ 1/21（火）キックオフイベントについて 官民共創の新しいまちづくりの第一歩になる。 ・ 高校生・大学生の若い皆さんに加えて、まちづくりに思いのある方など年代問わずより多くの方ご参加 いただきたい。	
2、ワーキンググループ全体会（以降、ファシリテーション：平賀研也氏 / ディレクション）		
(1) 全体連絡		
キックオフイベントの概略	○市より説明 ・ キックオフイベントについて概略説明 （日程・場所など大枠の説明） ・ 本日、検討いただきたい事項について説明 （チラシの文言など） ・ 周辺の学校へ参加周知のために説明に伺っている。	

(2) ワーキンググループ検討事項の共有		
ア、伊那北駅周辺再生 WG		
キックオフイベントの進め方について	○WG メンバー ・現時点で公開できる範囲の事業区分について参加者に共有する。 ・構想を知っていたいた上で、どんなまちにしていきたいかということに対話していきたい。 ・あくまでも互いの考えの背景とか文脈を理解しあうことを目的としたい。 ・主体性をどう発見するかっていうことも、ものすごくキーになってくると思う。 ・多様なグループで対話していくために、年代に合わせてグループ分けをするなどあらかじめ設定していきたい。 ・問いを絞り、発表者に対して参加者が質問を重ねていくことで、背景や意図、その発言の経緯を知りお互いの理解を深めていく時間にしていきたい。 ・主体性と引き出すためとどんな思いをもった人がいるか可視化するために、模造紙に書き出していく。 ・行政と関わり続けられることだけではなく、この場の参加者同士が繋がり何か始められるところまで設計していきたい。	・要望を伝えるだけの場になることを避ける。 ・グラウンドルールの設定、共有。
イ、伊那弥生ヶ丘高校将来活用 WG		
キックオフイベントの進め方について	○WG メンバー ・このキックオフイベントはイントロダクションと捉えて、本当にみんなと一緒にやっという機運を高めることを1番の目的にしたい。 ・これまでのWGの活動を共有する。参加者のみなさんの思いを共有して、今後の進め方について話したい。 ・いよいよ始まることに対して、それぞれ思いをもった人がいるので、そういった方々を大事にしていきたい。 ・進行：大塚純氏 ・WGの活動報告はそれぞれのメンバーの自己紹介と合わせて、ゴールやスケジュール、私たちに与えられているミッションについて伝えていきたい。 ・弥生の規模間の共有についても併せて共有予定。 ・参加していただきたい方として、報道でもあった、弥生の跡地を考える会のみなさんが協議会に参加す	

	るために準備を進めているとのことなので、一緒にやっていければと思う。 ・弥生ヶ丘高校の将来活用が学びの場であることは前提条件として、学びの場づくりに興味がある個人、大体含めて、そういった方に参加していただきたい。 ・部活動の地域移行にとっても弥生の跡地は重要な場所になるため、そういった興味がある方。 ・伊那弥生ヶ丘高校の卒業生 ・宿泊施設やカフェを通じたまちづくりに興味がある方、ここで自分のビジネスをやろうとしている方に会いたい。 ・企業の方やビジネスチャンスと捉えている方に来ていただきたい。 ・若い方たちがどう思っているのかは真摯にお聞きしたいと思っているので、中学生・高校生・大学生など場合によっては小学生の参加も増えるのかなと思っている。	
ウ、まちなかエリア高度化 WG		
キックオフイベントの進め方について	○WG メンバー ・まちなかエリアは具体的な物件や案件があるわけではないので、もう少し広く歴史的にどんなふうに町が出来上がったなど広い視点で話したいと思う。 ・テーマ「あなたは中心市街地でどう過ごしたいですか。」 ・過去、現在、未来に分けて、これまでは何をしてきたか、それから今何をしたいか、これから何をしていきたいかという3つの問いに分けていく。 ・1970年代以降、本格的な車社会になり、中心地から郊外の市街地へと急速に空洞化が進んだ。 ・それ以降、中心市街地では様々な取り組みが行われてきたが、そんな中で、人や車がたくさん来る、そこでお金を落とす消費額などを無意識のうちに目標としてやってきたのではないかな。 ・これからはその思考でいいのかも含めて、広くそんなところから話し合える場をつくりたい。 ・メンバーはファシリテート役に徹する。 ・1番来ていただきたい方は、これまで伊那のまちづくりを担ってきた方たち。早めに声をかけていきたい。 ・今現在、新しくお店を開いた方や若者や学生を含めて、これからこんなことでまちをつかっていきたいかなど話せたらよい。	

(3) その他		
1 回目を終えて 2 回目のイメージがあるか。	○WG メンバー ・伊那北校生と話したときに、ほとんどの生徒はこの地域から出たがっていると話していた。 ・若者にとって魅力的ではないから出ていくとなった場合に、自分にとってここがどうなると残りたくなったり、魅力的な場所であったりするかを本人では考えられない範疇だと思う。 ・その想定外を超えるためには予定調和を超える必要がある。 ・ひとつは多世代で話すことが重要だと思っている。 ・多くの人が排除されてしまうような「若者交流施設」という言葉を使うことをやめる。 ○WG メンバー ・3つのテーマを超えて興味がある方が来てくださった場合にはどういった設えにするのか。 ○事務局 ・申込時点でテーマを聞くが、移動や出入り自由としていき興味のあるテーマに参加していただければと思う。 ○WG メンバー ・参加人数に応じて対話をどういった単位で実施していくかなど検討する必要がある。 ・ワーキンググループでも役割分担などしていただきたい。 ・開催日以前、開催日の午前中などで、ファシリテーターが集まって進め方についての共通理解をする必要がある。 以降、WG 別 MTG へ	・ファシリテーター打合せ時間の確保